安全データシート(SDS)

JIS Z 7252/7253:2025 準拠　　初版　作成日：2026年10月09日

【1.化学品及び会社情報】

化学品の名称　：合成界面活性剤泡消火薬剤フロレス（FLST）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名　：モリタ宮田工業株式会社

住所　：神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-1-1

電話番号　：0467-85-3335 (SDS担当窓口)

FAX番号　：0467-87-3584

緊急連絡番号　：0467-85-1273

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途　：消火剤

使用上の制限　：消火目的以外には使用しないこと。

【2.危険有害性の要約】

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

爆発物 ：区分に該当しない
可燃性ガス ：分類対象外 (液体)
エアゾール ：分類対象外 (液体)
加圧下化学品 ：分類対象外 (本製品単体としては液体。消火器充填時は容器規制に従う)
酸化性ガス ：分類対象外 (液体)
高圧ガス ：分類対象外 (液体)
引火性液体 ：区分に該当しない
可燃性固体 ：分類対象外 (液体)
自己反応性化学品 ：区分に該当しない
自然発火性液体 ：区分に該当しない
自然発火性固体 ：分類対象外 (液体)
自己発熱性化学品 ：区分に該当しない
水反応可燃性化学品 ：区分に該当しない
酸化性液体 ：区分に該当しない
酸化性固体 ：分類対象外 (液体)
有機過酸化物 ：区分に該当しない
金属腐食性化学品 ：区分に該当しない
鈍性化爆発物 ：区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) ：区分に該当しない (混合物の急性毒性推定値 ATE = 40,692 mg/kg)
急性毒性 (経皮) ：分類できない (データ不足)
急性毒性 (吸入：粉塵) ：分類できない (データ不足)
皮膚腐食性／刺激性 ：分類できない (データ不足)
ただし、配合成分に皮膚刺激性区分2を有する物質を含むため、取扱時は接触を避けること。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ：区分2A (加成方式による)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 ：分類できない (データ不足)
生殖細胞変異原性 ：分類できない (データ不足)
発がん性 ：分類できない (データ不足)
IARC等において発がん性成分は確認されていない、または規制値以下である。
生殖毒性 ：分類できない (データ不足)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) ：分類できない (データ不足)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) ：分類できない (データ不足)
誤えん有害性 ：分類できない (データ不足)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期 (急性) ：区分2 (加成方式による)
水生環境有害性 長期 (慢性) ：分類できない (データ不足)
オゾン層への有害性 ：区分に該当しない (オゾン層破壊物質を含有しない)

GHSラベル要素

絵又はシンボル　：



注意喚起語　：警告

危険有害性情報　：強い眼刺激 (H319)

：水生生物に毒性 (H401)

注意書き

安全対策　P264＋P265 ：取扱い後は手、顔及び露出した皮膚をよく洗うこと。眼を触らないこと。

P273 ：環境への放出を避けること。

P280 ：適切な保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置　P305+P351+P338 ：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337+P317 ：眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

保管　P404 ：直射日光を避け、密閉容器に入れ冷暗所に保管すること。

廃棄　P501 ：内容物又は容器を現地の該当法規に従って廃棄物処理を行うこと。

【3.組成及び成分情報】

単一の化学物質／混合物の区別　：混合物

成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量(wt%)	化学特性(化学式又は示性式)	化審法官報整理番号	CASNo.
グリコールエーテル	30～40	企業秘密	企業秘密	企業秘密
アルキル硫酸塩	1.0～10	企業秘密	企業秘密	企業秘密
脂肪族アルコール	1.0～10	企業秘密	企業秘密	企業秘密
その他泡消火薬剤用配合成分	1.0～10	企業秘密	企業秘密	企業秘密
水	30～67	H_2O	-	7732-18-5

※法令上SDSの提供が求められる化学品情報の詳細は【15.適用法令】を参照してください。

【4.応急措置】

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

吸入した場合　：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

：喉の違和感や咳が続く場合は、直ちに医師に連絡を取りその指示に従うこと。

皮膚に付着した場合　：多量の水及び石けん（又は皮膚用洗剤）で優しく洗い流すこと。

：皮膚刺激や発疹が生じた場合は、医療処置を受けること。

眼に入った場合　：直ちに大量のきれいな流水で数分間注意深く洗うこと。

：コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

：こすらないこと（眼球を傷つけるおそれがある）。

：眼の刺激が持続する場合は、直ちに医師（救急医療機関等）の診察・処置を受けること。

飲み込んだ場合　：口の中を水でよくすすぐこと

：無理に吐かせないこと。

：気分が悪い時は、医師（救急医療機関等）の診察・処置を受けること

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入時 ：データなし

眼接触 ：データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

：取扱者は保護眼鏡、簡易マスク、ゴム手袋等の適切な保護具を着用し、
吸入や眼への接触を防止する。

医師に対する特別な注意事項　：特有の解毒剤はない。症状に応じた対医療法（対症療法）を行う。

【5.火災時の措置】

適切な消火剤　：本製品自体は不燃性の消火剤原液である。
使ってはならない消火剤　：なし（周囲の火災の状況に依存する）
火災時の特有の危険有害性　：データなし
特有の消火方法　：本品自体は消火用泡薬剤原液であるため、周囲の燃焼物に対する適切な消火活動を行う。
：火災の熱にばく露されている周囲の容器には、散水（水スプレー）して冷却する。
：消火活動は、風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：消火作業の際には、適切な保護具（手袋、眼鏡、防毒マスク等）を着用する。

【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業者は必ず適切な個人用保護具（簡易マスク、保護手袋、保護眼鏡等）を着用し、
目や皮膚への接触を避ける。
：多量漏出の場合、人を安全な場所に待避させる。必要に応じた十分な換気を行う。
環境に対する注意事項　：漏出した液が、河川や下水道、公共用水域等に直接流れ込むのを防止する
（水質に影響を及ぼす可能性がある）
封じ込め及び浄化の方法及び機材　：少量の場合：吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）に吸着させて回収し、
残りをウエスや雑巾等でよく拭き取る。
：多量の場合：盛り土等で囲って流出を防止し、
安全な場所に導いてからポンプ等で空容器に回収・吸引する。
：回収した廃棄物は、密閉可能な容器に集め、【13. 廃棄上の注意】に従って適切に廃棄する。
二次災害の防止　：漏出物の回収後は、回収場所を清掃する。
万一、河川や公共用水路等に流入した場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に連絡する。

【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い上の注意
技術的対策　：取扱場所の近くに、手洗い・洗顔・洗眼設備等を設け、その位置を明示する。
安全取扱注意事項　：使用前に最新のSDSまたは取扱説明書を入手し、十分に理解するまで取扱わないこと。
：取扱中は適切な保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用し、
眼及び皮膚との接触を避ける。
：容器や梱包袋を転倒させる、衝撃を加える、引きずる等の乱暴な取扱いを避ける。
接触回避　：強酸、強アルカリ、強酸化剤との接触を避ける。
衛生対策　：取扱後は手、顔、喉などをよく洗い、うがいをすること。
：取扱場所での飲食、喫煙を行わないこと。
：汚染された衣服は、再使用前に洗濯すること。
保管上の注意
安全な保管条件　：直射日光を避け、雨水のかからない涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。
：密閉容器で保管すること。
安全な容器包装材料　：ステンレス、プラスチック、ガラス、ライニング缶等の防錆・防湿鋼製容器、防湿積層袋。
：製品容器及び該当消火器

【8.ばく露防止及び保護措置】

管理濃度　：該当なし（管理濃度設定物質ではない）
濃度基準値　：ジエチレングリコールモノブチルエーテル： 10 ppm（安衛法濃度基準値）
：トリエタノールアミン： 5 mg/m³（安衛法濃度基準値）
許容濃度等（職業ばく露限界値、生物学的許容値等）
JP OEL, 2025年10月1日発効　：グリコールエーテル　TWA　60 mg/m³
：トリエタノールアミン　TWA　1 mg/m³
設備対策　：適切な局所排気・全体換気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置し、その位置を明示する。
保護具　呼吸用保護具　：必要に応じて適切な防毒マスク又は呼吸用保護具を着用。
手の保護具　：不浸透性の保護手袋（ビニール製、ゴム製、耐透過性等）
眼、顔面の保護具　：保護眼鏡（ゴーグル型が望ましい）
皮膚及び身体の保護具　：不浸透性の保護衣
特別な注意事項　：保護具は清潔な場所に保管し、有効期限や機能の劣化
（フィルターの目詰まり、手袋の破損等）が生じたものは速やかに交換する。

【9.物理的及び化学的性質】

物理状態　：液体
色　：無色～黒褐色透明
臭い　：わずかな(若干）特異臭
融点／凝固点　：< -10 ° C/< 14 ° F
沸点又は初留点及び沸点範囲　：データなし
可燃性　：なし（不燃性）
爆発下限界／爆発上限界／可燃限界　：データなし
引火点　：検出せず（不燃性・引火点なし）
自然発火点　：データなし
分解温度　：データなし
pH　：7.3～8.1（原液、 20 ° C/68 ° F）
動粘性率　：29 mm2/s（20 ° C/68 ° F）
溶解度　：データなし
n-オクタノール／水分配係数　：データなし
蒸気圧　：データなし
密度及び／又は相対密度　：1.058 g/ml（20 ° C/68 ° F）
相対ガス密度　：データなし
粒子特性　：該当なし（液体のため）

【10.安定性及び反応性】

反応性　：通常の使用、保管条件下においては極めて安定である。
化学的安定性　：通常の取扱い条件において化学的に安定である。
危険有害反応可能性　：強酸、強アルカリ、強酸化剤、強還元剤と接触すると、
発熱反応や有害ガスの発生を起こす可能性がある。
避けるべき条件　：加熱、日光、強酸・アミン類等との混触。
混触危険物質　：強酸、強アルカリ、強酸化剤、強還元剤、アミン類。
危険有害な分解生成物　：加熱により分解し、窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、
一酸化炭素、二酸化炭素、およびアンモニアガス（微量）等を発生するおそれがある。

【11.有害性情報】

急性毒性

経口　：区分に該当しない
混合物の急性毒性推定値: 40,692 mg/kg

経皮　：分類できない（データ不足）

吸入／粉塵　：分類できない（データ不足）

皮膚腐食性／刺激性　：分類できない（データ不足。ただし、配合成分であるアルキル硫酸塩が皮膚刺激性区分2を有するため、取扱時は接触を避けること。）

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分2A（加成方式による）

呼吸器感作性又は皮膚感作性　：分類できない（データ不足）

生殖細胞変異原性　：分類できない（データ不足）

発がん性　：分類できない
IARC、ACGIH、NTP、日本産業衛生学会等において、発癌性成分は確認されておりません。

生殖毒性　：分類できない（データ不足）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）　：分類できない（データ不足）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）　：分類できない（データ不足）

誤えん有害性　：分類できない（データ不足）

【12.環境影響情報】

水生環境有害性　短期　（急性）　：区分2（加成方式による）

水生環境有害性　長期　（慢性）　：分類できない（データ不足。環境への放出を避けること）

残留性／分解性　：分類できない（データ不足。環境への放出を避けること）

生体蓄積性　：分類できない（データ不足。環境への放出を避けること）

土壌中の移動性　：分類できない（データ不足。環境への放出を避けること）

オゾン層への有害性　：区分に該当しない（オゾン層破壊物質を意図的に含有しない）

【13.廃棄上の注意】

安全で環境上望ましい廃棄の方法

・該当法規（廃棄物の処理及び清掃に関する法律など）に従って、産業廃棄物として処分すること。
国、都道府県ならびに地方自治体の法規・条例を遵守すること。
・大気汚染防止法、廃棄物処理法、ダイオキシン類対策特別措置法等及び都道府県市町村条例に基づき適切に処理すること。
・廃棄を第三者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた適切な産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の詳細情報を明確にした上で処理を委託すること。
・水系（河川、湖沼、海洋、下水道等）に直接放流しないこと。

容器及び包装の適切な処理方法

・空容器や袋、包装材を廃棄する場合は、内部の付着液を完全に除去した後に処理（洗浄、リサイクル、又は規則に従った廃棄）すること。

【14.輸送上の注意】

・本消火薬剤（液単体）をドラム缶やポリ容器などで大量にバルク輸送する場合

国際規制

UNモデル規則に関する情報

国連番号　：該当なし（危険物輸送に該当しない）
品名（国連輸送名）　：該当なし
国連分類（クラス）　：該当なし
容器等級（パッキンググループ）：該当なし

国内規制　陸上輸送　：危険物等に該当しないため、通常の一般貨物としての規則に従う。
海上輸送　：船舶安全法における「危険物」に該当しない。
航空輸送　：航空法における「危険物」に該当しない。

・消火器容器に格納された高圧ガス等の加圧源とともに製品として輸送する場合

国際規制

UNモデル規則に関する情報

国連番号　：UN1044（消火器）
品名（国連輸送名）　：消火器
国連分類（クラス）　：クラス 2.2（非引火性・非毒性ガス、詳細は消火器の加圧ガスに依存）
容器等級（パッキンググループ）：該当なし

国内規制　陸上輸送　：高圧ガス保安法（充填消火器）、消防法、道路交通法の規制に従う。
海上輸送　：船舶安全法（危険物船舶運送及び貯蔵規則）の「消火器」の規則に従う。
航空輸送　：航空法（航空機安全運航規則）の「消火器」の規則に従う。

緊急時応急措置指針番号　：126（消火器として輸送する場合に適用）
特別な安全対策及び輸送条件　：輸送前に容器や積層袋に漏れや破損がないことを必ず確認する。
：積込みの際は、荷崩れ、転倒、落下、損傷がないように慎重に積み込み、荷崩れ防止（固縛）を確実に行うこと。
：輸送中は湿気や水を避ける。

【15.適用法令】

該当法令（化学品にSDSの提供が求められる法令）

消防法　：昭和23年法律第186号 第21条の2第2項の規定に基づく。
毒物及び劇物取締法(毒劇法)　：該当なし（対象外）
労働安全衛生法(安衛法)　：名称等を表示すべき危険物及び有害物
(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル
ドデシル硫酸ナトリウム
トリエタノールアミン
１－ドデカノール（別名ノルマル－ドデシルアルコール）
エタノール
：名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル：30 - 40%
ドデシル硫酸ナトリウム：1.0 - 10%
トリエタノールアミン：1.0-10%
１－ドデカノール（別名ノルマル－ドデシルアルコール）：1.0-10%
亜硝酸ナトリウム：0.10-0.90%
エタノール：0.10-0.90%
（含有量が幅記載の場合は、企業秘密であるため。）
：皮膚等障害化学物質(安衛則第594条の2関係)
ドデシル硫酸ナトリウム
トリエタノールアミン

化学物質排出把握管理促進法（化管法 / PRTR制度）

第一種指定化学物質

政令番号：627	：ジエチレングリコールモノブチルエーテル	32%
政令番号：407	：ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が１２から１５までのもの及びその混合物に限る。）	6.90%
政令番号：275	：ドデシル硫酸ナトリウム	2.90%
政令番号：574	：［（３－アルカンアミドプロピル）（ジメチル）アンモニオ］アセタート（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が８、１０、１２、１４、１６又は１８のもの及びその混合物に限る。）及び（Ｚ）－［［３－（オクタデカ－９－エンアミド）プロピル］（ジメチル）アンモニオ］アセタート並びにこれらの混合物	2.40%
政令番号：273	：１－ドデカノール（別名ノルマル－ドデシルアルコール）	1.70%

水質汚濁防止法　：第2条第2項　アンモニウム化合物、窒素含有化合物（トリエタノールアミン、亜硝酸ナトリウム等に起因する窒素源としての規制）

高圧ガス保安法　：消火剤単体には適用なし。
・加圧式消火器に充填した場合・・・加圧用ガスボンベに適用の可能性。
・蓄圧式消火器に充填した場合・・・加圧下化学品として適用の可能性。

【16.その他の情報】

消火薬剤型式番号　：泡第2026～5号

記載内容に関するお問い合わせ先

会社名	：モリタ宮田工業株式会社
担当部門	：SDS担当窓口
電話番号	：0467-85-3335
FAX番号	：0467-87-3584

作成年月日及び改訂情報

作成日	：2026年10月09日（初版　JIS Z 7252/7253:2025 準拠）

・本SDSに記載された含有量、物理的及び化学的性質／有害性情報／環境影響情報等の値は、保証値ではありません。
・記載内容については、現時点で入手した情報及び資料に基づいて作成しておりますが、
記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので取扱いには注意してください。
なお、注意事項等については通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、
さらに用途／用法に適した安全対策を実施し、取扱い願います。
・本SDSの改訂版を受領した場合には、「最新版提供の原則」に基づき旧SDSは適切に廃棄いただくようお願いいたします。